

多面的機能支払の活動とSDGsの整理表(案)

活動項目	説明（具体的な活動等）	SDGs目標	多面版SDGs15の目標
農地維持			
地域資源の基礎的な保全活動	草刈り、泥上げ等地域資源の適切な保安全管理により、持続可能な農業生産を支える		2. 飢餓をゼロに 持続可能な農業生産を支える
	草刈り、泥上げ等地域資源の適切な保安全管理により、異常気象時の被害軽減に取り組む		13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
異常気象時の対応	異常気象後の見回り、応急措置を行い、災害に対する強靱性、対応力を強化する		13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
研修	各種研修等に積極的に参加し、国、地方公共団体、関係団体等との連携や技術、情報の共有化を図る		17. パートナリシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する
地域資源の適切な保安全管理のための推進活動	構造変化に対応した保安全管理の目標に向けた活動により、持続可能な農業生産を支える		2. 飢餓をゼロに 持続可能な農業生産を支える
	構造変化に対応した保安全管理の目標（多様な主体・連携型）に向けた活動により、活動組織に参画する主体を増加させる		16. 平和と公正をすべての人に 多様な主体の参画による地域づくりを促進する
資源向上（共同：施設の軽微な補修）			
機能診断・施設の軽微な補修	機能診断による劣化状況等の早期発見、予防保全活動の実施により、安全で災害に強いインフラを作る		9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する
	機能診断による劣化状況等の早期発見、予防保全活動の実施により、施設を長く使う（施設の長寿命化を図る）		12. つくる責任、つかう責任 持続可能な生産・消費を進める
補修技術等に関する研修	補修技術等に関する研修を行い、安全で災害に強いインフラを作る		9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する
	補修技術等に関する研修を行い、災害に対する強靱性、対応力を強化する		13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
	各種研修等に積極的に参加し、国、地方公共団体、関係団体等との連携や技術、情報の共有化を図る		17. パートナリシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する
資源向上（長寿命化）			
補修、更新等	補修、更新等により、安全で災害に強いインフラを作る		9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する
	補修等により、施設を長く使う（施設の長寿命化を図る）		12. つくる責任、つかう責任 持続可能な生産・消費を進める
資源向上（共同：農村環境保全活動）			
生態系保全活動	生態系保全活動に取り組み、地域における生物多様性を保全する		15. 陸の豊かさも守ろう 地域における生物多様性を保全する
	自然を保護する活動を実践する		11. 住み続けられるまちづくりを 住み続けられる地域をつくる
生態系保全（生物の生息状況の把握）	生物の生息状況の把握により外来種の侵入を防止する		15. 陸の豊かさも守ろう 地域における生物多様性を保全する
生態系保全（外来種の駆除）	外来種を駆除する取り組みを行う		15. 陸の豊かさも守ろう 地域における生物多様性を保全する
水質保全活動	水質保全活動、ゴミ等の投棄防止や水の循環利用を増やすなどの取組によって、水質を改善する。		6. 安全な水とトイレを世界中に 地域における水質を保全する

多面的機能支払の活動とSDGsの整理表(案)

活動項目	説明（具体的な活動等）	SDGs目標		多面版SDGs15の目標
	水質保全活動により、ゴミの流出や富栄養化などによる海洋の汚染を防ぐ。		14. 海の豊かさを守ろう	海洋・海洋資源を保全する
水質保全活動（水田からの濁水管理、循環かんがい）	水田からの濁水管理や循環かんがい等により、地域内外の水質を保全し、水資源の持続可能な管理、利用を進める		12. つくる責任、つかう責任	持続可能な生産・消費を進める
景観形成・生活環境保全	施設等の定期的な巡回点検・清掃等によるごみの除去等により水質を保全する		6. 安全な水とトイレを世界中に	地域における水質を保全する
	施設等の定期的な巡回点検・清掃等によるごみの除去等により、ゴミの流出や富栄養化の防止を図る		14. 海の豊かさを守ろう	海洋・海洋資源を保全する
	景観形成活動により、地域住民以外の方が来訪する地域資源を創出する		8. 働きがいも経済成長も	地域における所得向上や雇用の確保を図る
景観形成・生活環境保全（伝統的施設や農法の保全・実施）	伝統的施設や農法の保全・実施により、地域の文化を伝承する		11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
農村環境保全活動	様々な取り組みや交流活動により、老若男女、地域内外を問わず、多様な主体の活動の場を創出し、やすらぎや福祉の機会を提供する		3. すべての人に健康と福祉を	やすらぎや福祉の機会を提供する
水田貯留機能増進・地下水かん養	水田の貯留機能向上活動により、災害に対する強靱性、対応力を強化する		13. 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
	水田の地下水かん養機能の発揮や水源かん養林の保全により、水資源の持続可能な管理、利用を進める		12. つくる責任、つかう責任	持続可能な生産・消費を進める
	水源かん養林の保全により、海洋資源を保全する		14. 海の豊かさを守ろう	海洋・海洋資源を保全する
資源循環	農業用水の反復利用により、農業用水を有効に活用する		12. つくる責任、つかう責任	持続可能な生産・消費を進める
	有機性物質の堆肥化により、資源循環を無駄なく使い、農業を持続可能なものとする		9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する
	有機性物質の堆肥化、間伐材等を利用した防護柵等の適正管理により、資源循環の取り組みを進める		12. つくる責任、つかう責任	持続可能な生産・消費を進める
	小水力発電施設の適正管理により、持続可能なエネルギーの利用を推進する		7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	持続可能なエネルギーの利用を推進する
農村環境保全活動	農村環境保全活動の実践活動や広報活動、啓発活動、地域住民等との交流活動により、持続可能な地域づくりへの理解を深める		4. 質の高い教育をみんなに	地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する
啓発・普及活動（広報活動）	広報活動により、多様な主体の参画を促進する		11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
啓発・普及活動（交流活動）	地域住民等との交流活動により、活動への関心を高める		11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
啓発・普及活動（広報活動・交流活動）	広報活動・交流活動により、地域住民以外や企業、大学等、都市と農村の連携を促進する		11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
啓発・普及活動（学校教育等との連携）	学校教育等との連携等により、地域の農業や環境保全、持続可能な地域を作るための教育の場を創出する		4. 質の高い教育をみんなに	地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する
啓発・普及活動	広報活動、啓発活動、地域住民等との交流活動により、自然と調和したライフスタイルの啓発・普及に取り組む		12. つくる責任、つかう責任	持続可能な生産・消費を進める

多面的機能支払の活動とSDGsの整理表(案)

活動項目	説明（具体的な活動等）	SDGs 目標	多面版SDGs15の目標
啓発・普及活動 （地域内の規制等の取 り決め）	規制（ルール、約束事等）を取り決めて、自然と調和したライフスタイルの啓発・普及に取り組む	 12. つくる責任、つかう責任	持続可能な生産・消費を進める
啓発・普及活動 （上下流等の交流活動）	水田を利用した水田貯留機能増進、地下水かん養を推進するために上下流等の中で連携を図り、災害に対する強靱性、対応力を強化する	 13. 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
	水田を利用した水田貯留機能増進、地下水かん養を推進するために上下流等の中で連携を図り、都市と農村の連携を図る	 11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
啓発・普及活動 （行政機関等との連携）	農村環境保全活動の啓発・普及のために行政機関等への情報提供や情報共有等による連携を図る	 17. パートナリシップで目標を達成しよう	地域協働の力により目標を達成する
多面的機能の増進を図る活動			
遊休農地の有効活用	地域内外からの営農者の確保や地域住民等の活動により、遊休農地を有効活用する	 2. 飢餓をゼロに	持続可能な農業生産を支える
	農業体験や景観形成等の場の提供等により都市農村交流の場を創出したり、特産物の生産や生産物の6次産業化へ発展させたりする	 8. 働きがいも経済成長も	地域における所得向上や雇用の確保を図る
鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化により、農地利用や地域環境の改善のための活動により持続可能な農業生産を支える	 2. 飢餓をゼロに	持続可能な農業生産を支える
地域住民による直営施工	直営施工による施設の補修や環境保全施設の設置、そのための技術取得等により、安全で災害等に強いインフラを作る	 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する
	直営施工による施設の補修やそのための技術取得等により、災害に対する強靱性、対応力を強化する	 13. 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
防災・減災力の強化	水田やため池の雨水貯留機能の活用や危険ため池の管理体制の整備、災害時における応急体制の整備等、地域が一体となった防災・減災力の強化のための活動により、災害に対する強靱性、対応力を強化する	 13. 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
やすらぎ・福祉及び教育機能の活用	医療・福祉施設等との連携等により、地域資源の有するやすらぎや福祉の機会を提供する	 3. すべての人に健康と福祉を	やすらぎや福祉の機会を提供する
	医療・福祉施設等との連携等により、地域資源の有するやすらぎや教育の場としての機能を活用し、多くの人が参画した地域づくりを進める	 11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
	医療・福祉施設等との連携等により、地域資源の有するやすらぎや教育の場としての機能を活用し、誰でも参加できるしくみをつくる	 16. 平和と公正をすべての人に	多様な主体の参画による地域づくりを促進する
農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	伝統的な農業技術、農業に由来する行事の継承等、農村文化を伝承する。	 11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
	伝統的な農業技術、農業に由来する行事の継承等により、地域の文化の振興や6次産業化、持続的な観光を促進する	 8. 働きがいも経済成長も	地域における所得向上や雇用の確保を図る
広報活動・農的関係人口の拡大	広報活動により、多様な主体の参画を促進する	 11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる
	広報活動により、地域住民以外や企業、大学等、都市と農村の連携を促進する	 11. 住み続けられるまちづくりを	住み続けられる地域をつくる

多面的機能支払の活動とSDGsの整理表(案)

活動項目	説明（具体的な活動等）	SDGs目標	多面版SDGs15の目標
全般			
計画策定（多様な主体による活動）	農業者以外の団体など、多様な主体が活躍する場を創出する		11. 住み続けられるまちづくりを 住み続けられる地域をつくる
組織構成（役員、構成員の多様化）	活動組織に参画する（役員や構成員となる）主体を増やす（減少させない）		16. 平和と公正をすべての人に 多様な主体の参画による地域づくりを促進する
女性の参画	活動組織の役員や活動に参加する女性の割合を増加させる		5. ジェンダー平等を実現しよう 女性の参画により地域や活動組織の取り組みの可能性を広げる
	女性が中心となって企画する活動を作る		5. ジェンダー平等を実現しよう 女性の参画により地域や活動組織の取り組みの可能性を広げる
	活動内容や時間帯等、女性が参加しやすい工夫をして、女性の参画、参加を促す		5. ジェンダー平等を実現しよう 女性の参画により地域や活動組織の取り組みの可能性を広げる
持続可能な地域づくりに向けた人材育成	持続可能な地域づくりに向け、組織運営や事務を担う人材の育成を行う		12. つくる責任、つかう責任 持続可能な生産・消費を進める
持続可能な地域づくりに向けた組織体制の検討	持続可能な地域づくりに向け、組織体制（役員構成、女性や非農家等の参画、世代交代、広域化、事務委託等）を行う		12. つくる責任、つかう責任 持続可能な生産・消費を進める
NPO法人化等組織の体制強化	NPO法人化や広域組織化等により、組織の連携体制強化を図る		17. パートナリーシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する
自己評価、SDGsアイデアシート等を活用した持続可能な地域づくりの点検	これまでの活動や組織運営を定期的に振り返り、持続可能な地域づくりについて点検して、その結果を共有する		12. つくる責任、つかう責任 持続可能な生産・消費を進める
環境保全型農業直接支払交付金等への取り組み	認定農用地の区域内で環境保全型農業直接支払交付金や有機農業等に取り組む農業者を支援し、持続可能な食料生産を支える		2. 飢餓をゼロに 持続可能な農業生産を支える
	認定農用地の区域内で環境保全型農業直接支払交付金や有機農業等に取り組む農業者を支援し、水質を保全する		6. 安全な水とトイレを世界中に 地域における水質を保全する
地産地消、6次産業化等	地産地消や地域の農産物や地域資源を活用した新事業（6次産業化等）を支援している。		8. 働きがいも経済成長も 地域における所得向上や雇用の確保を図る
地産地消	地産地消を推進する		12. つくる責任、つかう責任 持続可能な生産・消費を進める
都市農村交流	地域住民以外や企業、大学等と連携した活動を行う		11. 住み続けられるまちづくりを 住み続けられる地域をつくる
都道府県、市町村、推進組織等との連携	都道府県、市町村、推進組織等との連携を積極的に行う		17. パートナリーシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する
土地改良区との連携	土地改良区が構成員として参加する等、土地改良区との連携を図る		17. パートナリーシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する
他の活動組織や団体との連携	他の活動組織や団体と連携して活動を行う		17. パートナリーシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する
大学や企業等との連携	大学や企業等との連携により、研究開発の促進や技術の向上に貢献する		9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する